

成人看護学（慢性期）実習 OSCE

1. テーマ．受け持ち患者の観察と報告
2. OSCE 課題
患者の身体面の情報を中心に観察し、その結果を要約して説明して下さい。
3. 実施方法
 - 1) 受け持ち患者の看護計画を立案して持参する。
 - 2) 実施前に患者の状況を要約して紹介する。(評価者が分かるように)
 - 3) 午前または午後の検温で訪室したと想定し、観察やケアを実施する(10分)。
 - 4) 評価者・患者からフィードバックを受ける(1分)。
 - 5) 観察結果の判断、データの推移と原因、問題点の明確化をまとめる(10分)
 - 6) 観察結果を要約しプレゼンテーションを行う。(5分)。※患者役は各グループ担当教員
4. 集合時間・場所
5. タイムスケジュール
6. 準備するもの：実習日（教員より指示あり）の看護計画
7. 服装その他：実習と同じ（実習服、ナースシューズ、聴診器、時計、メモ帳など）
8. 評価
評価は立案してきた看護計画の実施状況で行う。

評価表

分野	評価項目	合	否
認知 (知識)	1 計画に沿って観察・情報収集できたか。		
	2 患者の現疾患の必須データ(反応)、症状に焦点化した情報を収集できたか。		
	3 患者の治療による影響に焦点化した情報を収集できたか。		
	4 系統立て、もれなく収集できたか。 (呼吸器、循環器系など)		

	5	O 情報と S 情報を関連づけながら情報収集できたか。		
	6	症状の重点アセスメントを考慮して観察できたか。 (経時的变化、増悪・軽減因子、症状の程度、性状の 変化、患者の対処)		
技術	7	効率よく正確に測定できたか。		
	8	患者のプライバシー・安全・環境を配慮していたか。		
	9	患者のセルフケア能力(自立)を考慮していたか。		
態度	10	共感的態度で接していたか。		
	11	患者の意思を尊重した態度だったか。		
	12	適切な言葉づかいだったか。		
報告	13	データの判断と根拠を述べられる		
	14	S,O,患者の反応(データ)の推移・変化を原因と関連づ けて述べられる。		
	15	問題点を明確に述べられる。		
	16	専門用語を用いて簡潔に適切に要約できる。		